

たけた 市議会だより

No.15 発行 平成21年2月1日

編集 ■ 市議会だより編集委員会 ☎0974-63-4813 印刷 ■ えとう印刷



みんなで“読み札”を考え、絵を描き、色をぬり、手作りカルタを作りました



(久住:おしゃべりサロン「仲原いきいきグループ」の皆さん)

仕事をしたくても仕事場がなく生活に不安が募る。農家は肥料が高騰して4割以上も値段が上がり、農産物は下落する一方で後継者不足。農地は荒れて農道、水路の維持さえ困難な時代、若者が夢を見ることもままならない。地球規模による天候異変、米国リーマン社の経営破たんによる世界的な金融危機、そのおこりで大規模な人員削減がこる。我が町も出て行く企業はあっても来る企業はなかなかない。仕事がなく生活できないときは、市の福祉に相談に行くことすめる。若者は生活のできる町へ、都会へと移動する。移動できない私達は皆で手を取り合っていくしかない。苦しい時ほど人とのつながりを大切にし、裏表のないつきあいをして今を乗り切ろう。私たち議員も千里眼を持ってことにあたりたい。平成21年が平穏無事である年であることを祈る。

(編集委員 荒巻文夫)

嵐にむかって!!

決算審査特別委員会報告

平成19年度決算を認定!!

起立採決の結果 賛成多数

決算審査特別委員長 佐田 啓二

平成20年第3回定例会で平成19年度決算審査特別委員会（一般会計を審査）が設置された。

10月22日の本委員会で審査した後、更に審査をするために総務、産業経済、社会文教、建設の各分科会に所管事項の審査を付託し、11月4日の本委員会において各分科会の委員長の報告を受け質疑、討論を行った。起立採決の結果賛成多数で原案を認定すべきものと決定した。

平成19年度決算額は、歳入総額170億5千8百万円、歳出総額は166億6千万円、歳入歳出差引額は3億9千8百万円の黒字だが、財政調整基金からの繰り入れ7億7千7百万円等を差し引いた実質単年度収支は11億円の赤字となっている。決算規模は前年度と比較して歳入で24億円、歳出で20億円の縮小となった。歳入



決算審査特別委員会

決算の構成比は地方交付税が46%、市税約12%、国庫支出金約10%となっている。特徴として市税は19億9千万円で前年比5.6%増となっているが、交付税や県支出金は大幅減額、繰入金は大幅増となっている。平成23年度に財政調整基金の枯渇が危ぶまれていたが、必死の行財政改革により枯渇の危機は当面は回避ができた。しかし今後は、引き続き国の

三位一体改革や景気減退による税収不足などにより行革で節減した以上に収入は減少する。国の施策の見直しを求めたい。

温泉施設管理 運営等調査特別 委員会報告

委員長 大塚 廣

主に竹田温泉花木月についての調査研究を目的として、平成17年9月に設置された特別委員会は、これまで38回に及ぶ委員会を開催し、その時点時点での課題について調査検討を重ねてきた。

執行部の「ケーブルネットワーク事業が終了する平成21年度までは経費節減に努力しながら営業を続ける」との方針を前提として、当初は、いかにして一般会計からの繰入を減らすか、続いては、執行部から提案のあった、将来の複合施設化、温泉付き図書館または健康増進施設についての検討を行った。

委員からの発言は、現状のまま経営努力を期待するものから即時閉鎖まで百人百様、一つの方向性を出すには程遠いものであり、複合施設化に關しての議会からの提言書は、議会の審議の内容をまとめたものの、域

併せて、公設の温泉施設（御前湯、長生湯、天満湯、七里田温泉、白丹温泉、荻の里温泉）についても現状を視察した。その報告を議会に行つて、当委員会は3月議会で解散の予定である。



「御前湯」で説明を受ける委員

議会活性化・ 改革委員会報告

委員長 渡辺龍太郎

平成19年7月3日の第1回委員会の開催以来1年半、竹田市議会の活性化と改革を柱に、21項目を掲げて慎重に検討してきた。特に前半の20年3月までは、議員定数について集中審議を重ね、初各種団体との意見交換会を開き、市民の意見を拝聴した。結果は次回の選挙から選挙区を設けずに行うこと、21年度から本庁方式となり市民サービスの低下や議

員の必要性を考慮し22名に決定した。
また、これまでの4常任委員会を、3常任委員会に、1日1常任委員会とし、多くの市民が傍聴できるよう委員会室の壁を取るように計画した。
後半は、議会への市民参加と、信頼される議会づくりのために検討を重ねてきた。「議会報告会の制度化」の必要性は理解するものの、開催の方法論まで行き着くことができなかった。



議会活性化・改革委員会研修の様子

さらに、各種審議会の議員の就任については、一つ一つ検討の結果、議会本来のチェック機能を果たすため、基本的には、法的に義務付けられたものだけとし、大半の審議会への議員の就任を辞退することとした。

1年半という短い期間での委員会であり21項目すべてを決定付けることはできなかったが、引き続き検討を要する事項もあるため、改選後も委員

会の設置を要望した。特に「竹田市議会基本条例」は、議会活動の基本となるもので、その必要性は高く、早期に策定が必要だと思う。

一般質問

平成20年第4回定例会は、12月3日から12月19日までの17日間の日程で開かれました。12月8日、9日の2日間、10人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。
なお、原稿は議員本人が執筆しています。



吉竹 悟議員

ケーブルネットワーク 加入説明会について

吉竹 説明会が始まったが、市民の反応と参加状況は如何か？

企画情報課長 市民の反応は様々。「説明不足」「財政は大丈夫か」「高齢者・低所得者には負担が大きい」「早く欲しい」「時代遅れになる」「議会の団結を望む」「市長・副市長はもっと地域の声を聞くべき」「半数の議員が反対した理由は」等の意見があった。参加者の不安が解け

事業内容に理解をしたものと考ええるが、理解していない市民がいることに反省をしている。参加率は11月末現在、久住44・5%、直入58・7%、荻34・6%、竹田30・0%となっている。



ケーブルネットワーク
加入推進説明会

吉竹 市民福祉大会で「反対する市民は、財政悪化を希望していることと同じ。私を苦しめようとしているだけ」と発言したと聞くが、その真意は。

市長 かなり誤差があるが、その席上ケーブルの必要性について話した。「この事業は議会の議決を受けてスタートしている。今止められる訳はない。この反対はおそらく必要性そのものよりも私への批判であろう」と申し上げた。

吉竹 ケーブルネットワーク事業への賛否が未だに多いなか、一番大事な説明会へ、市長・副市長は何度足を運んだのか？

企画情報課長 市長は0回、副市長は5回。

学校現場の現状について

吉竹 市内の不登校児童生徒の現状をお聞きする。

学校教育室長 10月現在で、小学校3名、中学校15名である。

吉竹 児童生徒を1番に考え、将来の進路や自立ができるよう、教育長を中心にしてしっかりと取り組むべきではないか。

教育長 市内の子供たち全員が、学校へ通える環境や体制を地道につくる。



加藤正義 議員

牧市政を振り返って

加藤 重点課題、政策、及び行政改革の進捗状況は。

定住促進だが、U・Iターンの受け入れと企業誘致は。

市長 振興局の統合、竹田商業高校跡地問題も市民のご協力で思いが通じた。

ごみ収集週2日の実施、2度の激甚災害指定も。企業誘致に力を入れた。空き家情報は、登録38件で成立22件、65名の成果。なお取得希望者130人。更に空き家情報を募る。下竹田小跡地は定住促進事業で実現したい。

加藤 子育て支援の現状は。

市長 不妊治療費補助、乳幼児医療費助成事業、予防接種事業、乳幼児5歳児検診、幼児クリニックなど他市にない事業も。結果18年23名、19年8名と出生児が増えた。

加藤 行財政改革の進捗状況は。

総務課長 21年までの計画

に、76%の達成率と順調。職員の定員管理も、目標43人に72人と削減できた。

AED（自動体外式除細動器）の普及は

加藤 竹田ロータリークラブはAED6台を市に寄贈、全配置のマップ作成や講習会も実施。県外の旅行者が市内宿泊中、AEDの使用で一命を取り留めた。市内の配置の現状は。



AED（心臓の筋肉に電氣的な刺激を与える電気ショック）

消防長 現在、公共施設、民間施設に39か所設置されている。

加藤 消防署から遠距離の校区、機動的なタクシー待合所などの配置を検討したらどうか。

消防長 公共施設は継続して配置、民間施設への普及は、自主配置を促していきたい。

津賀牟礼城跡の国指定は

加藤 入田地区にある津賀牟礼

にやうちかざね

城跡(入田親誠の山城)は、国指定文化財の候補だが見通しは。

文化財課長 県内には569の山城があり、津賀牟礼は国指定の候補であるがその後際立った進展がないのが現状。



佐田啓二 議員

道路網とケーブルネット
ワークの整備について

佐田 道路網並びに高速・大容量通信網の整備は竹田市が生き残るための基盤だ。中九州高規格道路、国道、主要県道の整備状況は。

建設課長 高規格道路については10月までに用地と契約についての説明を行った。その結果11月末現在、面積割合で約20%の同意もしくは契約を頂いている。竹田・荻間については、整備区間指定に向け所要の調査が実施されている。阿蘇・大津道路は工事着工に向け詳細調査が実施されて



高規格道路大野IC付近

いる。未指定区間は大部分市・大飼町間と荻町・阿蘇市赤水間で1日も早い全線の区間指定、全線開通を望んでいる。

国道と主要県道については、交流入口の拡大を図るための広域道路網の整備と広域観光ネットワークの確立のための道路網の整備を重点に行っている。また、生活に密着した生活道路・産業道路の未改良区間の整備を順次行っている。(具体的回答あり)

佐田 高規格道路大野・竹田間の供用開始について国交省はいつを目途にしているのか。

市長 国としては明言を避けているがこの道路については過去にないくらい力を入れていて聞いている。用地ができれば工事は半分終わったようなものの、用地の目途が立った時点で国

としては示すのではないかとと思う。竹田市も「1日も早い竣工・供用開始」についてお願いをしていく。

佐田 ケーブルネットワーク事業の進捗状況は。

企画情報課長 伝送路の整備については共架に耐えうる電柱なのかなどの調査をしている。久住地域を終えて今竹田地域並びに直入地域に入っている。センター施設整備では機器選定、改修工事の準備を行っている。

このほか道路網とブロードバンド環境の整備による企業誘致戦略、観光振興戦略、農業振興戦略をどう構築していくのかについて質問した。



大塚惟敬 議員

市政方針について

大塚 次期市長選も踏まえた市政の方針は。

市長 世界不況は否応なしにこの地まで影響を及ぼしている。かつて竹田は豊肥沿線の

中心市として大変な賑わいを誇っていた。私は今を出発点として明日を考え、様々な取り組みをしてきた。新パッケージ事業も大きな契機であり、交流人口の増加や各種役職への取り組み、交流事業の推進、東京日本橋での竹楽の再現や「坂の上の雲」の放映は最高の機会であり情報発信にはケーブルネットワーク事業は力強く後押しする。



東京日本橋での竹楽の様子

財政の現状と将来展望は

大塚 19年度決算に伴う財政の現状と実施中のケーブルネットワーク事業に関連する財政内容は。

財政課長 財政健全化法が制定され財政状況の4つの指標

(実質赤字比率、連結赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)が重要視されている。4指標の内赤字はなし、実質公債費比率は改善され県下8番目、将来負担比率は県下7番目である。ケーブル事業と国営事業の償還起債を含めても20年度以降減少していく。引き続き厳しい財政状況ではあるが、行財政改革の成果で財政が改善される。

大塚 財政力を示す数値結果をどう捉える。

財政課長 総合的な財政判断基準では、4指標全て赤字はなく国から制限を受ける数値に達していない。平成23年度を目途に地方交付税など急激な削減がなければ徐々に回復のきざしが見えると推測する。

指標の財政破綻市との比較は、
実質赤字比率 基準13.3、
Y市730.71、竹田市赤字なし。

連結実質赤字比率 基準18.3、Y市739.45、竹田市赤字なし。

将来負担比率 基準350.0、Y市1237.6、竹田市101.8で財政破綻は考えられない。

多くの市民に役立つ ケーブルネットワーク 事業にするために



大塚 廣 議員

大塚 IP電話は(テレビを契約しない家庭も含めて)全世帯で市内通話無料にする考えはないか。

企画情報課長 市の方針としては、テレビの契約をした人への付加サービスを考えている。しかし、将来そのような議論が高まってくれば、費用を市が負担して、全家庭無料にすることは技術的には可能である。

大塚 グループ放送については、市民団体やサークル活動などでも活用できるようにするべきではないか。

企画情報課長 現在の設計では、グループとして、全市一斉、旧市町、学区、自治会を考慮しており、1世帯が加入できるグループ数は8以内となっているので、当面は行政サービスに関するグループを考えている。サークルなどでも活用できるようにするにはシステムの増強など経費もかかるので、それを誰が負担するかなども検討

しないといけない。
大塚 インターネット利用者への情報提供を充実させることはできないか。

企画情報課長 今回の事業では、農業図書館という形で農業情報を提供するようにになっている。今後は、市のホームページの充実、保健・福祉面では関係機関と連携しての情報提供、またホームページやブログの活用を促すことを通じての市民活動の支援などが考えられる。



ケーブルテレビ体験会

大塚 行政施策推進の上で、ケーブルネットワークにどのような期待を持っているか。

副市長 いろいろ考えられるが(紙面の関係で省略)、当面はインシャルコストを安くあげたい。

将来的には民間と一緒に活用する道をさぐっていききたい。



荒巻文夫 議員

高齢者対策

荒巻 交通、買物、金銭の出し入れ等の不便解消対策は

福祉事務所長 交通不便解消は自己負担となるがヘルパーサービスや、ライフサポーター事業がある。買物不便の解消は地域社会の商業機能の維持と地域住民の日常生活の利便性確保を目的とした事業があり、高齢者等地域住民からの電話注文に応じて商店が注文者宅に宅配する。本年度は久住地域において実施の予定。日常の金銭の出し入れや管理が困難な高齢者には社会福祉協議会が権利擁護事業を行っている。

荒巻 ケーブルネットワークが緊急通報、健康診断、寝たきり障害者、独居老人の人達に役に立つのか。大久保病院、伊藤病院がケーブルを早くしてほしいと言われるが、今現状は

どのように対処しているのか。
企画情報課長 経費や事務的体制が必要なのでケーブル事業の後に検討する。大久保病院には市の光ケーブルを貸している。伊藤病院からは伝送ができないので早く光ケーブルを整備してほしいと言われている。



久住地域で始まった宅配サービス

荒巻 国民健康保険税が大変高くなっている。20年度の国保税滞納状況は。市長の裁量で一般財源から補てんすることは考えていないのか。

市長 財政が大変厳しいので慎重に検討しないといけない。

保険課長 20年11月末の滞納者は852人、滞納額は約2億2500万円。19年度の赤字分は20年度から22年度の3年間で解消する計画である。

有害鳥獣対策

荒巻 年々猪や鹿が殖え続けている。収穫の時期になると今までは出ていない所にも猪が出る。牛の飼料にするワラ等は、猪が入って暴れるなどにおいがつき、牛が口にしないなど被害は、多岐にわたる。緊急に電気柵が必要である。補正を組んでも助成を考えると望ましい。



土居昌弘 議員

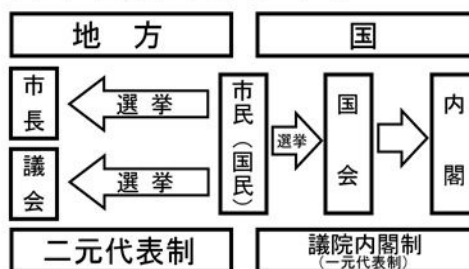
一元代表制における 市長の仕事

土居 日本国の治め方は、議院内閣制(一元代表制)。国民は選挙で国会議員を選び、その国会で内閣を編成し、舵を取る。内閣は国会の議決で、法案が民意を得たかを確認する。

一方、地方自治体。市民は市長と議会をそれぞれの選挙で選出し、それぞれが代表となり、双方を対立させたなかの牽制・

均衡の関係で自治体運営をさせる。当然、市長は民意を得た議案を議会に提出し、議会も民意を得た判断で採決する。これが二元代表制。

日本を治めるしくみ



市長は「ケーブルネットワークは民意を得たか」という問いに「議員は市民の信託を受けて採決に臨んだ。その結果、議決されたので民意は得た」と。

これが私にはわからない。市長の方でも民意を得て議会に提案するのが、一元代表制のしくみ。ところが答弁は「議会が議決したから民意だ」という一元代表制のもとの言葉。こういう自治体運営でよいのか。市長の考えは。

総務企画部長 議会制民主主義の解釈が、土居議員と私達とは異なる。市民は自らの権力行使を選挙によって、議員に

委ねる。市民がそうすることによって、間接的に政治に参加するのが、議会制民主主義。その議会で議決されたので、市民の民意は間接的に得られたと考える。

小学校での英語教育

土居 その方針は。

学校教育指導室長 平成23年度より、小学校の外国語活動が必修となる。来年度は年間10～15時間程度。先進事例である南部小学校の取り組みを市内全小学校で研究したり、ALTの活用も探る。また、竹田教育研究会外国語教育部会などでの中学校との連携も進めて、児童のコミュニケーション能力を高めたい。



渡辺龍太郎 議員

中小企業支援策と経済・景気回復策について

渡辺 世界的な不況の波は、竹田市も例外ではないが、来年度国や県の金融支援策の制度を利用する商工業者に竹田市と

して独自の支援策は考えられないか。

産業建設部長 現下の不況対策として国は、10月末から緊急保証制度を運用している。申込みは、竹田市が事業所の経営状況を示す添付資料に基づき認定し、金融機関へ手続きをするようになっていた。現在13件の認定をしている。竹田市では国や県の支援策と、市の利子補給制度を活用していたことで中小企業者の資金需要に応えられると思っている。新たな市独自の支援策は考えていない。

渡辺 利子補給制度も大変ありがたいが、県下で市町村独自の金融支援策を制度化している市が10市ある。内容は、大半が保証料を支援するものだ。中小企業の自助努力も及ばない不況の世の中になっているので、今後制度化の検討をしてほしい。また、公共事業の地元発注や、市が扱うお金を竹田市で利用することが一つの景気回復と思うが検討できないか。

産業建設部長 4月から導入した要件設定型一般競争入札制度でも、地場企業の保護育成を図る観点から、市内業者に配慮した地域要件を設定するなどの措置をしてできる限り



4月から導入された電子入札の様子

地元発注に留意するよう考えていきたい。

渡辺 先日の講演会で、今は「やる気」ではできない。「本気で」という話があった。本気になつての取り組みを期待したい。さらに、過去、自治労や地区労、直入教組に購入いただいた商店街の「商品券」の販売も、竹田市でお金を回すという意味から必要で、市を挙げて協力していただきたい。



阿部重幸 議員

ケーブルネットワーク施設整備事業について

阿部 議会の議決を受けて、入札も終わり起工式実施、加入促進説明会を開いているが、一方では反対運動が起きている。そのことに対して率直な思いは。

市長 県内他市では、このような反対運動は起きていないので、残念に思う。議決の重さを尊重し、理解と協力をいただきたい。

阿部 9月議会で、「たとえ7割いなくても国費の返還はあり得ない」と言われた。10月18日の市民福祉大会での言葉との統一性は。

市長 9月議会のときは、事業完了後の話をし、福祉大会では、中断した場合の話をした。内容が別である。

阿部 事業説明会に地元の職員を当て張りつけるのは如何なものか。姑息な手段ではないか。

市長 本事業は市の最重要プロジェクトと位置づけて、全職員挙げて取り組んでいる。市民の方も見知りの職員であれば疑問点なども尋ねやすいと考えている。

阿部 事業推進して竹田市に未来はあると思うか。

市長 この実施については、明日の竹田を思い、苦渋の決断の中で提案した。財政については、厳しいが徐々に回復していくものとみている。



井 英昭 議員

阿部 企業誘致の状況は。 企画情報課長 現在、県を通じて農業関連の企業を紹介してもらっている。受け入れの調整中。受け入れに際しては、地域住民の理解や協力を頂くことが肝要。今後とも地元市民や関係機関などへの事前連絡など調整を図りながら進めていきたい。

企業誘致について

野菜栽培のワールドファーム
竹田に農場建設

「坂の上の雲」 放映について

井 NHKスペシャル大河ドラマとして21年の秋から放送されるが、広瀬中佐が準主役級に扱われる。この際、竹田市のPRの為に「坂の上の雲」係をつくってはどうか。

市長 広瀬中佐とともに竹田市の知名度アップが大きく期待できる。行政窓口も一本化する必要がある、名称は未定だが担当を置く方向で調整をしている。

ケーブル事業の 説明について



廣瀬武夫顕彰会設立総会

井 説明会の資料では情報量が多すぎて、理解が難しいという声が多い。内容をまとめた簡単な分かりやすい小冊子を作成し、全戸に配布してはどうか。

企画情報課長 小冊子まではできないが、A4両面刷りのパンフレットを作成し配布する。市報などにもなるべく分かりやすいよう工夫して掲載していく。

竹田版SNSの 開設について

井 SNSとはmixiに代表されるソーシャル・ネットワーキング・サービスをいう。簡単にいうとインターネット上でネットワークを構築するサービスだが、行政が運営するSNSが内部的なまちづくりのきっかけとして注目されている。竹田市でもケーブル事業の開始にあたり、市が運営するSNSを始めようか。

企画情報課長 SNSは情報共有の場として自治体で開設する動きが活発になっている。熊本県の八代市では、個人の日記から子育てなどの情報交換やイベント情報の提供まで幅広く活用されている。竹田市ではインターネット利用世帯を3割程度と予想し、携帯電話による利用者を加えると、概ね半数の世帯で利用が可能と考えられる。市内の情報インフラの活用を考える際、地域コミュニティ育成の可能性がある竹田版SNSの開設は幅広く検討していきたい。

議員ふりっぴ記

チャリティーショー

農家に東京から嫁が来た！

幕の前に登場するのは、今をときめくおれおれ詐欺集団。メーキャップがいいのか、演技がいいのか、それとも・・・とにかく、臨場感あふれる幕開け。

東京でサラリーマンの長男に彼女ができ、田舎で一緒に農業をやりたい。

これを知った詐欺集団、長男になりすまし、大金を振り込ませようとするが、竹田のしたたかなばあちゃん、自分のへそくり口座に振り込み、難は避ける。嫁は東京から迎えることに成功。

今年も稽古はやっぱり2回のみ。それでも何とかなのは、4期生以上のベテラン故か。(監督 加藤正義)



「農家に東京から嫁が来た！」の一場面



チャリティーショー出演者

お知らせ

本会議は公開されておりますのでどなたでも傍聴することができます。
皆様のお出でをお待ちしています。

竹田市議会公式ホームページには、本会議の会議録のほか、議会の概要、議員の紹介、議会日程、請願・陳情の提出方法などを掲載しています。是非ご覧下さい。

◎詳細は、議会事務局までお問い合わせ下さい
TEL63-4813

認 認 可 可 可 可 可 可 可 可 可
定 定 決 決 決 決 決 決 決 決 決

採 採
繼續審查 繼續審查
採 採

可決

A group photograph of nine men in business suits, standing and sitting in front of a wood-paneled wall. The men are arranged in two rows: five standing in the back and four seated in the front. They are all smiling and looking towards the camera. The background is a wall with vertical wood paneling. The men are wearing various styles of suits, including dark blue, grey, and light blue. Some are wearing ties, while others are wearing bowties. The overall atmosphere is professional and formal.

春は別れと出会いの季節と申します。私共この2年間発行に携わり、皆様から親しまれる「議会だより」を目指してまいりました。

12月定例会において、小代議員のご遺族が傍聴されるなか、大塚惟敬議員が追悼のことばを贈り、故人の冥福をお祈りいたしました。

ここに、哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。



議員一幸代小故
小代一幸議員が、去る12月2日に54歳で逝去されました。

小代議員は、平成17年に初当選以来、社会文教常任委員会の副委員長を常任されるなど、本市の発展と地方自治の進展に多大な貢献をされました。

あ
と
が
き

森哲秀

▼昨年、久住のチャリテイショーで「祭り」を披露。サブリちゃんになりきろうと思いを渡部さんと荒巻さんにメイクを依頼。立派な山田花子になっていた。お蔭で会場は大いに盛り上がった。二人の機転に拍手。

佐田 啓二

▼米国発の金融危機による世界的な大不況。金融工学などという訳の分からぬ手法を駆使して突き進んできた利益至上主義の破綻だ。経済はモノづくりが基本だ。「額に汗して働く者こそ報われる世の中」の到来を願う。

日小田秀之

▼竹田市の基幹産業は農業だ。これからの農業は生産から加工販売、又は直接消費費すること所得増となる。そこで今、行政が進める農業体験民宿に取り組み、都市との交流を図ろう。

和田 幸生